

## 「カジノ万博」シンポジウム

下記のチラシのように、来月6月16日に「カジノ万博で経済振興」というファンタジー～05 愛知万博を検証する、と題したシンポジウムが開催される。会場は「あべのハルカス 23 階」。ハルカ先でもない、ちょうど1ヶ月後なので紹介しておきたい。

というのも、私が基調講演の「大役」を仰せつかっているからだ。大阪での本格的な「デビュー」であり、講演の準備を進めている。名古屋に住んでいた頃、長い間、愛知万博「騒動」と関わってきた。中部国際空港とともに、愛知万博は私の調査研究、住民運動との大切なつながりの場であった。大阪に来て、愛知・名古屋での万博「経験」が活かせるようで、こんな嬉しいことはない。

このシンポジウムは、カジノ問題を考える大阪ネットワーク主催であり、その代表を務めるのが桜田照雄・阪南大学教授。カジノ問題などで活躍する気鋭の研究者であり、フェイスブック仲間だ。桜田さんは特別報告の筋原章博・大阪市港区長とともに、大阪市立大学の宮本憲一ゼミ門下生である。筋原さんとは大正区長の時代にお会いしたことがあり、地元根差した地域密着のあつい活動報告をお聞きした。特別報告には、もう一人、「大阪を知り・考える会」代表の中野雅司さんが登場する。地元企業の社長さんであり、中野さんのビルでヒアリングをさせてもらい、多くのことを学んだ。

とにかく特別報告は豪華メンバーである。基調報告よりも貴重な報告が期待される。基調報告として何を話すか。愛知万博の検証を踏まえて、大阪「カジノ万博」について辛口コメントをしてみたい。「カジノ万博」について、「かじの」切り方をどう示せるか。

(2018年5月16日)

シンポジウム「カジノ万博で経済振興」という  
ファンタジー  
～05愛知万博を検証する～

2018年6月16日(土) 1:30~4:00  
会場：あべのハルカス 23階 阪南大学キャンパス  
(地図は裏面)

大阪府・市 IR 推進局が昨年作ったパンフレットには、「IR はカジノだけじゃない。楽しいことがいっぱい」と謳われ、娯楽施設やショッピングモールが一緒に描かれています。でも、そもそもなぜカジノを作る必要があるのか、一切説明はありません。

おまけに、カジノ設置計画の夢洲は大阪市の最後のごみ処理場。ここに IR 施設を作れば、新たなごみ処理場が必要となり、大阪市民の負担が増えます。

今、カジノ問題だけでなく、「大阪の経済活性化に万博が必要なのか？」が問われています。

基調講演  
特別報告

山田明さん  
名古屋市長  
名古屋市長。05年愛知万博の自治・財政・環境への問題を指摘。

筋原章博さん  
港区長(前大正区長)。中小企業にスポットを当てたツアーや商店街活性化にとりくむ。

中野雅司さん  
「大阪を知り考える会」代表として、大阪の文化と維新政治の問題点を発信し続ける。

コーディネーター  
桜田照雄さん  
阪南大学教授  
カジノ問題を考える大阪ネットワーク代表

主催 カジノ問題を考える大阪ネットワーク (連絡先 大阪いちろうの会 電話 06-6361-0546)